

西南学院創立100周年に向けて

No. 9 (2012. 5)

4月19日(木)、第15回西南学院創立100周年事業企画運営委員会開催

西南学院創立100周年記念募金・基金検討委員会の設置が承認されました。検討委員会は、記念募金・基金の対象、スケジュール、顕彰、体制・組織等の検討を行うもので、坂井財務部長を委員長とし、大杉総務部長・100周年事業推進室長、坂本総務部広報課長、宮本財務部経理課長、藤井中学校・高等学校事務長、野上小学校事務室副課長で構成されます。本年12月までを検討期間とし、100周年事業推進室が担当部署となります。

◎西南学院オラトリオ・アカデミーの実施について

西南学院創立100周年記念事業の一環として、大規模なオラトリオ（オーケストラ付宗教合唱作品）を歌う合唱団を新設しました。

ヘンデルの『メサイヤ』、ブラームスの『ドイツ・レクイエム』など、すぐれた作品を毎年取り上げ、創立100周年の2016年には、ルター派教会音楽の最高峰 J. S. バッハの『マタイ受難曲』上演を目指します。

合唱指揮・指導は、安積西南学院音楽主事が担当し、5月8日の練習開始から毎週火曜日の通常練習と月1回の特別練習を行い、11月3日(土)に演奏会を開催します。今年度の演奏曲目は W. A. モーツァルト レクイエム KV 6 2 6 です。

合唱団入団者は、187名(男性43名・女性144名)。最年少は7歳の小学生から最高齢は85歳の女性まで幅広い年齢層の方々に参加されています。

◎新聞広告の掲載について

学院創立記念日(5月15日)に新聞広告を掲載しました(添付参照)。掲載紙は、西日本新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞で、掲載エリアは、各紙とも西部本社版 九州・山口地区です。新聞広告は、西南学院創立100周年事業の一環で、西南学院全体のイメージアップを図るためのものです。昨年からはじめており、100周年を迎えるまで、毎年創立記念日に新聞広告を掲載していく予定です。

100周年事業推進室

拝啓、 C.K.ドージャー様。



1916年、創立者C.K.ドージャーにより、福岡の地で開校した私立西南学院。
104名の生徒と9名の教員からなる男子中学校としてスタートした学院は、現在、約13万5千人の卒業生と600名の教職員が集う総合学園へと発展しました。
C.K.ドージャーが遺した言葉「西南よ、キリストに忠実なれ」を建学の精神として受け継ぎ、成長した輝く個性たちが西南スピリットの担い手として、今日も地域で、全国で、世界で活躍しています。

C.K.: I offer thanks to God for the visionary work you began by founding Seinan Gakuin. Over the years, the result of your work continues to impact the lives of thousands of students, Fukuoka, Japan, and the world. With a heart filled with gratitude,

(院長 学長 G. W. Oakley)

私はこの西南学院小学校に入って、「助けあい、思いやり」について学びました。これからみんなのために何かをやるという心を大切にしていきたいです。

(小学校4年 細川 了子)

今でも早稲子供の園での次山の思い出が思い浮かび、親子二代で素晴らしい時間を過ごせた事に感謝しています。 Thank you for everything.

(第20回(1972年)保育所卒 古川 雄一)

“西南よキリストに忠実なれ”は、「根本に立ち返れ」という意味で私の落語家人生に活かされています。

(中学1994年卒 熊澤 誠) 桂 了子

“あなたはどこに居るのか”(創世記3:9)。若き日に間い掛けられた言葉が、折に触れて追ってきます。生きる視座を与えられました。

(高校1985年卒 文学部 国際文化学科 89期 田川 大介)

大学を卒業してちょうど10年。じっくり語りた時、仕事に悩んで相談した時、たばこが無性に飲みたい時、未だに真先に大学の同期生の面々が浮かぶのは…友人が少なくなっただけには無いはずですよ。

(商学部 02期 西森 陽平)



西南学院の宝「ドージャー愛用の聖書」

Having experienced
SEINAN GAKUIN is a
compass of my life!!

(文学部 英文学科 07期 小川 壯一)

4年後に100周年。その先、200周年もまたその先も西南学院の旗のもとに卒業生が希望を掲げつとえる事を心から信じています

(短期大学部 1968年卒 高山 和代)

壁にぶつかったときに思い出す聖書の言葉いつも支えてくれる仲間や恩師 たくさん笑って泣いた思い出 西南で過ごした学生時代は私の人生の大きな財産です。

(中学・高校2005年卒 経済学部 09期 平良 実由希)

先生が蒔かれた一粒の種は大木に育ち多くの果実を实らせています。約13万5千人の卒業生は各方面で活躍し、社会への貢献は高い評価を受けています。

(同窓会連合会会長・大学同窓会会長 商学部 57期 中 脩治郎)

現在の大学博物館は旧中子部の職員室講堂在学中の私達は毎朝の礼拝讃美歌斉唱河野先生の好講話評読懐かしい思い出の建物開校百周年が待た嬉しい。

(旧制中学部 1948年卒 専門学校二部 経済科 1951年卒 太田 義幸)

曾祖父も祖父も父も、そして僕もずっと西南にお世話になっています。100年経って、そこの心と存在が、ここからの西南にも栄光あれ!

(第72回(1986年)幼稚園卒 高校1998年卒 井上 若雄)

穏やかな環境の中で、これからのことを考えることができた貴重な4年間でした。そして生涯の友となる友人達に出会うことができました。ありがとうございます。

(文学部 児童教育学科 94期 岩下 真子 (旧姓 池尻))

高橋ゼミの同窓会である「高翔会」や法学部ゼミナール連合会事務局の仲間等幾人かの生涯の友を得ることができました。

(法学部 75期 日下 喜道)

「汝の若き日に汝の造り主を憶えよ」。私の人格形成の基礎は中学校で培われたと断言できます。2年後、西南学院小学校出身の中学生が初めて誕生します。心から期待しています。

(中学1951年卒 高校1954年卒 商学部 59期 東森 恒)



2016年、西南学院は100周年を迎えます。

人と地域との絆、感謝・貢献

●過去から現在までに贈られた絆を、未来に向けて一層つなぐ。
●関わってきた方々、周囲の方々への感謝を、地域に貢献する取り組みで形に。

世界に貢献できる人間教育

●総合学園として「奉仕の精神を持って世界に貢献する人間」の継続的育成。
●キリスト教に基づく「愛れた人財(愛)」の育成。その「西南力」を社会へ還元。

時代を先取りする学術研究

●高水準の国際教育や情報処理教育を拡充し、優れた研究成果や社会を元気づける。
●福岡西部副都心 西新から、九州・アジア・世界に貢献する学術研究拠点へ。

守り伝える建学の精神

●建学の精神「Seinan Be True To Christ」を基に原典回廊・青瀬部の機会に。
●建学の精神の継承と「西南スピリット」をこれからの100年でより一層拡げる。

学校法人 西南学院

西南学院大学 / 大学院 / 西南学院中学校・高等学校 / 西南学院小学校 / 西南学院幼稚幼稚園 / 西南学院早稲子供の園(保育所)

http://www.seinan-gakuin.jp